

情報・システム研究機構長の業務執行状況の確認結果

情報・システム研究機構長の業務執行状況の確認規則第3条に基づき、平成27年度における機構長の業務執行状況の確認を実施しましたので、その結果を報告します。

1. 実施方法

「平成27事業年度にかかる業務の実績に関する報告書」及び国立大学法人評価委員会による評価結果並びに機構長との意見交換及び監事からの意見等をもとに、業務執行状況の確認を行った。

2. 対象期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

3. 確認結果

- 特筆すべき状況を生み出している
- 順調に進めている
- おおむね順調に進めている
- やや遅れている
- 重大な改善事項がある

4. 理由

機構長として4研究所のミッションとコアをまとめ、第4の科学の方法論とも言われるデータサイエンスという大きな潮流を適切に捉え、その基盤作りとプラットフォームとしてのシステム整備に成功しつつある。

実際の業務に当たっては、各機関の実情等を十分に理解し、役員、所長及び職員をリードし、平成28年度設置に向けたデータサイエンス共同利用基盤施設や戦略企画本部の準備をするなど様々な取り組みを行い、機構内におけるガバナンスの地盤を作り、新領域融合の明確な方向性を示してきたのは大きな成果である。

一方、他機構との連携による教育・人材育成への取り組みや、全国をリードしていく立場である情報セキュリティ等への対応については、より積極的な役割を期待したい。

これらを総合的に勘案し、平成27年度の機構長の業務実行状況は、「順調に進めている」と判断した。